

令和7年度第2回社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議

議事録概要

日 時：令和8年1月20日（火）19時00分～20時00分

場 所：やわらぎ会館 3階 小会議室2

出席者：19名（委員13名+事務局6名）

教育長挨拶

議長挨拶

1. 旧王寺北小学校体育館の廃止について事務局より説明

主な意見の概要は、次の通り。

委員 体育館を廃止した跡地について利用方法は決まっているか。

事務局 現時点では具体的に決まっていない。今後サウンディング調査等を行い決定する。

委員 王寺町としての方向性は何かあるのか。

事務局 王寺町全体での体育施設の総面積や利用状況等を考慮すると、体育施設以外の利用が望ましいのではないかと考えている。

委員 体育館に保管している防災備蓄品はどのようにするのか。

事務局 今後避難所として指定予定の王寺北幼稚園等で保管する。

委員 新たな避難所として王寺北幼稚園・大和大学白鳳短期大学部が挙げられているが、収容人数や面積的に問題はないのか。

事務局 収容人数としては約2倍になるため、問題はないと考えている。

なお、小学校は机のある教室は避難場所に含められないが、幼稚園の場合は机がないため教室部分も避難場所として含めることができる。

2. その他について

主な意見の概要は、次の通り。

委員 学校部活動の地域展開について、王寺町の方針はどのように考えているか教えていただきたい。

事務局 国の動向としては、学校部活動の土日の地域展開を令和10年度末までに実施する目標が出されている。奈良県については、令和8年度から土日の学校部活動は教職員が実施しないという方針が出されたところである。王寺町としては、学校部活動の土日の指導を地域指導員に支えていただく方法と、学校部活動は平日のみとして土日は地域クラブに子どもたちが参加する方法の2つが考えられるが、課題として指導員が不足していることが挙げられる。

現在の学校部活動を地域展開するためには、12部活動×各2名の合計24名の指導員の確保が必要と考えているが、現時点では奈良県の人材バンクでは2名、教職員の兼職兼業制度を活用して10名程度は確保できる見込みである。今後も地域人材による指導員の確保に向けて進めていく。

委員 兼職兼業された教職員の地域クラブでの給与は誰が負担するのか。

事務局 現時点での国の案では、地域クラブ活動費等の支援として、国1/3、県1/3、町1/3の補助制度が示されている。ただし、地域クラブとして認定されるためには活動時間等の条件がある。

副議長挨拶

以上